

お知らせ 給食費の改定について検討しています

給食費の改定が必要な理由

帯広市の学校給食は、平成 27 年度から現在の学校給食センターとなり、新たに主食に麺類を加えたほか、和え物やサラダを 1 品増やすなどの充実を図り、給食を提供しています。

しかし、近年、お米や野菜など食材価格の高騰が続いており、主食の食材価格が上昇した分、副食分（おかずなど）の食材費が圧迫されています。

また、小学校における外国語活動・英語科の導入や中学校でも学習活動の充実に伴う年間の授業時数を確保するため、来年度から小中学校とも授業日数を 3 日増やす見込みとなっています。

こうした状況を踏まえ、教育委員会は、食育の推進など学校給食が持つ様々な役割を今後も安定的に維持していくため、給食費の改定について帯広市学校給食センター運営委員会に^{しもん}諮問しました。（諮問とは：有識者などに意見をもとめること）

諮問の内容

☆ 1 日あたりの単価については、主食分の値上がりにより副食費が圧迫されている価格相当分を増額することとし、小学校で 5 円、中学校で 6 円を増額します。

☆ 年間給食費を算定する基準日数については、実際に提供されている日数との差及び来年度以降見込まれる授業日数の増を勘案し、5 日増やして 195 日とします。

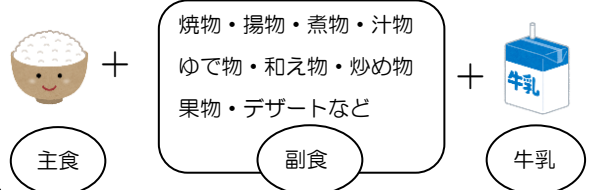
区分		改定前	改定後	改定内容
小学校	1 人 1 日あたり	230 円	235 円	5 円増額
	1 人 1 年あたり	43,700 円	45,825 円	2,125 円増額
中学校	1 人 1 日あたり	285 円	291 円	6 円増額
	1 人 1 年あたり	54,150 円	56,745 円	2,595 円増額



※ 1 年あたり給食費＝1 日あたり単価×基準日数（改定前 190 日、改定後 195 日）

【現行単価での一食あたりの給食費内訳】			
	■ 主食	■ 牛乳	■ 副食
小学校(230円)			
平成27年度	40.69	43.90	145.41
	+3.47	+1.88	▲5.35
平成30年度	44.16	45.78	140.06
中学校(285円)			
平成27年度	50.94	43.90	190.16
	+4.80	+1.88	▲6.68
平成30年度	55.74	45.78	183.48

副食費とは、給食献立のうち主食（ご飯・パン・麺類）と牛乳以外のおかず（主菜・副菜・汁物・デザート等）を作るために必要な食材費です。



★ 副食の充実、栄養バランスに大きく影響するため、学校給食においても副食費の確保はとても重要です。安全・安心で多様な食材を適切に組み合わせ、季節ごとの旬な食材の利用、様々なメニューの提供など、バリエーションに富んだ献立の工夫により、「楽しい学校給食」を提供し、児童生徒が食への興味・関心を持ってもらうことで、学校生活をより豊かにすることにつながると考えています。

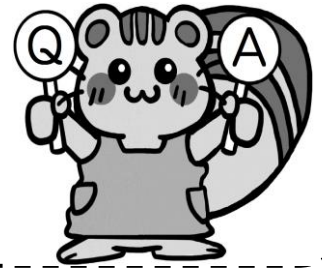
今後の進め方

来年 1 月下旬に運営委員会から答申を受け、来年度予算の編成作業と併せて、給食費の改定について検討します。（答申とは：諮問に対して意見を申し述べること）

給食費について Q&A

Q1. 給食の費用は誰がどのように負担しているのですか？

A1. 学校給食を提供するために必要な経費は、学校給食法に基づいて、食材購入にかかる経費は「給食費」として保護者負担、食材費以外の経費（人件費、光熱水費、施設設備費など）は帯広市の負担とされています。



Q2. 給食費改定によりどんな効果がありますか？

A2. 給食費の改定により、子どもたちにとって魅力ある献立内容の一層の充実を図ることができるようになります。

(例)・地元産食材や旬の食材を使用した特色ある献立の充実
・様々なメニューや行事食の充実

【平成29年度 地場産（帯広・十勝）野菜導入率：57.3%】

Q3. 経済的に困難な家庭にはどのような対応がありますか？

A3. 経済的理由で給食費の支払いが困難な方に対しては、給食費など子どもの就学に要する経費を援助する制度（就学援助制度）があります。

詳しくは学校教育課（電話 65-4203）へお問い合わせください。



Q4. これまでどんな取り組みをしてきたのですか？

A4. 栄養価等を維持しながら価格高騰に対応するため、次のような取り組みを行ってきました。

- ・安価な食材に変更するなど、献立内容の調整を行いました。
- ・食材の規格を見直すなどして、入札参加者を増やすことにより、食材購入費を抑える調整をしてきました。

Q5. 来年10月に消費税が10%に改定されることが予定されていますが、再度給食費の値上げをするのですか？

A5. 食材の購入には軽減税率が適用され、8%に据え置かれる見込みのため、給食費の値上げは予定していません。



【問合せ先】

帯広市教育委員会 学校教育部 学校給食センター
電話 0155-49-1900

(平成30年11月発行)